



HUNGER BANQUET2018 企画書

清泉女子大学 地球市民学科
HUNGER BANQUET チーム

HUNGER BANQUET とは

HUNGER BANQUET とは世界の飢餓を実際に体感することで飢餓について考えるファウンド・レージングイベントです。

HUNGER BANQUET の歴史

HUNGER BANQUET とは飢餓の宴と呼ばれており、Oxfam というアメリカの飢餓について考え実行する団体が始めた参加型ワークショップです。1974 年の感謝祭の前夜に初めて行われ、前米同時に 250,000 人が参加しました。

HUNGER BANQUET を清泉女子大学で開催するメリット

清泉女子大学では地球市民学科という世界情勢に関して考え実行するという世界で一つだけの学科があります。その地球市民学科の 2 年生と 1 年生が準備から当日の進行まで作り上げるイベントが HUNGER BANQUET です。清泉女子大学では 2000 年から毎年開催しており、今年で 18 年目になります。清泉女子大学で開催することで地球市民学科の活躍を受験生だけでなく多くの方にも知っていただけたと思います。

HUNGER BANQUET 計画予定

2018 年 10 月 1 日 申し込みスタート 地元の小中学校、指定校の高校、周辺の大学、ツイッター、OXFAM のホームページ掲載、清泉祭で配布するチラシから参加してもらう人を探す予定です。

↓

2018 年 11 月 5 日 〆切 当日来てもらうお客様の人数を把握し招待状を送付します

↓

2018 年 11 月 10 日 HUGERBANQUET 開催当日は入校許可を事前に貰い、入り口で確認する形を取る予定です。食品を扱うので事前にアレルギーや衛生面の管理を怠らないように心がけます。



HUNGER BANQUET の流れ

1. 世界を第一世界、第二世界、第三世界と先進国、発展途上国、途上国に分け、参加者にくじを引いてもらい分かれてもらいます
2. 第一世界は椅子、第三世界は床というように座席にも差を出し食事をする前から格差を体感して頂きます
3. 食事を世界ごとに変えてお客様にお出しします(去年、第一世界はケンタッキーとピザ、第二世界は冷凍パスタ、第三世界は乾パンを御出しました)
4. 食事をお召し上がりいただきながら格差を実感してもらいます
5. 2年生がテーマに沿ってプレゼンテーションをします。飢餓だけでなく様々な地球で起こる問題に目を向けてもらうことを目的としています(去年は日本の教育格差、世界の女子教育のプレゼンテーションを行いました)
6. 食事を取り終えた後、グループに分かれディスカッションをしてもらいます。格差を感じたことを共有することで様々な人の意見を聞くことが目的です
7. グループで共有したことを代表の方に発表してもらいまとめに入ります

清泉 HUNGER BANQUET チームが目指すこと

- 飢餓について知る人が増えること
- 地球市民学科から発信できることの可能性を広げること
- 参加者からこの活動を広めてもらうこと
- このワークショップを広めること

